高橋 Ш

直樹 駿 君 君

作曲 作歌

(平成十六年度寮歌

酒注ぎ交わし乾した夜の おまえは何を言わんとす 折れたポプラよ

おまえの匂いが映らない 見上げた月の傍らで

俺や寮友らが歌うだろう *** たとえこの世が変われども 永久に変わらず継いでやるとり 心配せなや友達よ

側になくともその根が

生命の継ぎ目が終われどもいのち 心配せなや友達よ

お前は此処に生きている

茜ね 折れたポプラよ おまえは何を言わんとす に溶ける秋の日も が踊る夏の日も

俺とお前は同じ土 まれ まな っち 肩を組もうぞ友達よ 同じ生命を共にした

供に称えん友達よ

その身朽ちゆく運命ども 歌声や思いを繋ぐだろう 肩を組もうぞ友達よ

次代がお前を芽吹くだろう

折れたポプラよ

春の色する夢なれや 固め歩んだ迪の未来からある 別れの雪を踏みしめて おまえは何を言わんとす

供に称えん友達よ 見つめる春は違えども 尽きぬ涙は言足りず 過ごせる時間の限れるにすがとれるに 思うは日々のいたずらかなる。

六華が我等照らすかな りっか おれらて